

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名： 笠置町

プロジェクト名	安心・安全なまちづくり事業		実施期間	平成23年～平成25年	テーマ	安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本町はこれまでに台風や集中豪雨に見舞われ、大きな被害を受けてきています。特に山間地形であるため土砂災害による被害が大きく、京都府による砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業、地すべり対策事業が継続して実施されていますが、まだ危険箇所も多く残っているため、災害に対する十分な備えが求められています。</p> <p>道路等については、豪雨・台風等により路肩等が崩れたりしている箇所もあり、児童の通学路においても落石危険箇所等があることから、このまま放置しておくとうる被害の拡大を招きかねません。</p> <p>山間地形に住む本町の住民にとって、特に防災対策へのニーズは高く、安心・安全なまちづくり事業として重要である。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>防災マップの作成や啓発事業を実施し、町民並びに笠置に来られる人々の安心・安全を守るとともに、台風や集中豪雨等で破損・崩落した箇所を包括的に補修・修繕することにより、被害の拡大を未然に防ぐことにより、安心安全なまちづくりに寄与することを目的とする。</p>							
	総事業費（千円）	33,476	本年度事業費（千円）	3,776	交付金額（千円）	2,191		
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	防災行政無線戸別受信機購入	交付対象事業	防災行政無線の受信機の購入			20個の防災行政無線戸別受信機の購入		
	防災備蓄倉庫設置	〃	災害時における備蓄品等の保管倉庫の設置事業			笠置町産業振興会館に防災備蓄倉庫（2棟）を設置		
	まちづくり事業補助金	〃	各地区の安全対策等に係る経費を補助			西部区：道路拡幅工事、飛鳥路区：農業用水路の補修、東部区：防犯灯移設・スポーツ大会、切山区：道路改修工事、北部区：公民館（集会所）トイレ改修を実施		
	啓発用懸垂幕等作成事業	〃	「遊泳禁止」等の啓発用懸垂幕等の作成			水難事故防止横断幕、遭難防止看板の作成並びに設置		
	間伐推進事業	〃	町内全域の森林における間伐推進事業			5.36haの民有林の間伐作業を実施		
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	防災備蓄品数量 H24：510人（町民の約30%）3食分		成果指標の実績値 （平成25年3月31日時点）	パン1,500食・水2,280本分（町民約30%の3食分） （平成25年3月31日時点）			
	成果指標の達成状況	-	（左の理由）	成果指標の目標数値が25年度目標と途中段階であるため				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	成果指標の目標数値が25年度目標と途中段階であるため		（時期）	平成25年度末	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名： 笠置町

成果指標 ②	成果指標の目標数値	木津川死亡事故 H22：1人→H25：0人		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)		
	成果指標の達成状況	-	(左の理由)	成果指標の目標数値が25年度目標と途中段階であるため		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	成果指標の目標数値が25年度目標と途中段階であるため	(時期)	平成25年度末
成果指標 ③	成果指標の目標数値	町内交通事故 H21：8件→H25：0件		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)		
	成果指標の達成状況	-	(左の理由)	成果指標の目標数値が25年度目標と途中段階であるため		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	成果指標の目標数値が25年度目標と途中段階であるため	(時期)	平成25年度末
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p style="text-align: center;">防災備蓄品倉庫の整備や防災行政無線戸別受信機購入等による災害時の体制整備を図るとともに、住民協働事業による交通安全啓発事業や防災マップ作成事業を通じて、安全意識の向上を図ることが出来た。</p> <p style="text-align: center;">※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>					
本プロジェクトに対する自己評価	住民の自治意識を高める成果	防災マップ作成事業やまちづくり事業を通じて住民自治意識の向上が図れた。				

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名： 笠置町

プロジェクト名	少子高齢化に優しいまちづくり事業	実施期間	平成23年～平成25年	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本町の人口は平成22年度には1,626人（国勢調査）となり、昭和30年の3,205人の約半数に減少している。 また、65歳以上の高齢者の比率も既に35%を超えている。くわえて、住民の半数以上が65歳以上の高齢者である。いわゆる「限界集落」が地区に存在しており、今後地域の社会的共同生活の維持そのものが困難になることが懸念される。 将来推計においては、今後も一層の人口減少が見込まれているところであり、町を活性化させ総合的な定住促進化対策等を講じて、町内からの人口流出抑制、町外からの移住を促す必要がある。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>美しい自然と、史跡にめぐまれた笠置町の魅力を改めて見直し町内外に発信するとともに、交通ネットワークの維持・住宅整備等、児童や高齢者支援などの施策を総合的に実施し、人口流出の抑制、町外からの定住を促進する。</p>						
	総事業費（千円）	61,366	本年度事業費（千円）	19,149	交付金額（千円）	5,922	
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	J R 鉄道運賃助成事業	交付金対象事業	70歳以上の方で、JR往復乗車券利用の半額助成。限度額1千円/回、年度12回まで利用可能	対象者511人中216人の利用			
	老人健康対策事業	"	高齢者の生きがい対策事業として、70歳以上の老人に温泉利用無料券の発行（年度12回の利用券を発行（500円/回））	対象者511人で延べ人数1,826人の利用			
	老人（母子）手当支給事業	"	80歳以上の老人、母子世帯への支給事業	80歳以上の老人225人、18歳までの児童を養育する母子世帯（14世帯）、支給児童児童数20人に対し支給			
	障害者健康管理等助成事業	"	身障4級・療育Bまでの人の一部負担金助成	1級・2級年間月平均28名に対し助成、3級・4級他・IQ対象者35名に対し助成			
	敬老会記念品支給事業	"	傘寿、喜寿、90歳以上の老人に記念品を支給	80歳/23名、88歳/9名、90歳以上/47名、100歳以上/3名の計82名の方に記念品を支給			
	緊急通報システム事業	"	1人暮らし、又は高齢者世帯で他の同居者も虚弱な者に対し、設置工事費等助成	機器の貸与は町全額負担、機器設備工事及び2年1度の電池交換に係る費用は非課税世帯のみ町全額負担（課税世帯は全額負担）で24年度は設置者/13名、新規購入社/2名			
	福祉バス運行事業	"	奈良交通バスの廃止後、町内6集落と町唯一の交通機関であるJR笠置駅を結ぶバス運行	自動車運転免許証を持たない高齢者の利用を中心に平均乗車人員50人/日			
	福祉タクシー事業	"	身障1・2級、療育手帳A等外出が困難な心身障害者に12千円/年のタクシー利用券を支給（所得制限有）	10名に対しタクシー利用券を支給			
	空き家バンク	関連事業	町内の空き家を有効に活用して、地域の少子高齢化の軽減及び過疎化の解消を促し、若年層の定住化や町内人口の増加、地域活動の維持・活性化を図る。	24年度空き家登録新規1件、合計2件			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名： 笠置町

	駅無人化対策事業	"	無人化となったJR笠置駅に人員を雇用配置し、子どもから高齢者等の鉄道利用者に適切な案内・切符購入を行えるよう実施。	乗車人員27,042人/年	
	子育て支援事業	"	3歳から12歳までの子どもに係る医療費を外来自己負担額の200円から3,000円までの差額を助成しています。	3歳から12歳までの子どもに対し平均22名/月に助成	
成果指標①	成果指標の目標数値	人口動態（社会増減） H21：△29人→H25：0人		成果指標の実績値（○年○月○日時点）	平成25年度末
	成果指標の達成状況	-	（左の理由）	成果指標の目標数値が25年度目標と途中段階であるため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	成果指標の目標数値が25年度目標と途中段階であるため	（時期）
成果指標②	成果指標の目標数値	町営住宅への入居 H21：0世帯→H25：3世帯		成果指標の実績値（○年○月○日時点）	
	成果指標の達成状況	-	（左の理由）	成果指標の目標数値が25年度目標と途中段階であるため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	成果指標の目標数値が25年度目標と途中段階であるため	（時期）
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>福祉バスの運行や鉄道運賃の助成等の交通ネットワークの維持に向けた取組や各種の児童・高齢者支援の取組を通じて、高齢者等に優しいまちづくりを進めるとともに、笠置駅の無人化対策事業による観光地としてのイメージダウンの回避に繋がった。また、空き家バンク事業（H23年度1件契約）による定住促進などを通じて、町からの人口流出の抑制及び町外からの定住を促進していく。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	駅無人化対策事業では、少子高齢化に対する支援のみならず、防犯面や観光地としてのイメージダウンの回避等にも寄与している。また、笠置町空き家バンクでは、24年度では新たな契約は結ばなかったが、（23年度では1件契約成立）成果指標目標達成に向けて努力していきたい。			
	府と市町村等との連携に資する成果	府や町の制度を併せることにより、医療助成体制の強化が図れている。			
	住民の自治意識を高める成果	福祉医療制度の充実により、住民の自治意識が高まる。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名： 笠置町

プロジェクト名	魅力ある観光のまちづくり事業		実施期間	平成23年～平成25年	テーマ	観光	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	笠置町は、京都と奈良の間、木津川上流の山峡に歴史とロマンを素朴にただよわせる静かな史跡・景勝のまちです。当町は、地形条件に恵まれず、人口は減少傾向を見せていますが、訪れる人は年間30万人を越える規模となっています。少子高齢化の進む当町にとって、魅力ある観光のまちづくりは、町を活性化させることから住民ニーズは高い。							
プロジェクトの目的及び概要	美しい自然と、史跡にまぐまれた笠置町の魅力を改めて見直し、様々な事業を通じて笠置ファンを拡大させる。							
	総事業費（千円）	20,351	本年度事業費（千円）	5,010	交付金額（千円）	2,204		
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	観光イベント事業（もみじ公園ライトアップ）	交付金対象事業	笠置町の自然と緑あふれる魅力を多くの方に知ってもらうために11月中開催する			延べ1,000人程度の集客		
	観光イベント事業（駅前装飾委託）	〃	観光客を華やかに迎えるため、笠置駅前を中心に春・夏・秋の季節に造花の飾り付けを実施。			駅前を中心に、春は桜、夏は青葉、秋には紅葉の飾り付けを実施		
	各種イベント報償（フォトコンテスト）	〃	笠置町の四季折々の自然景観・史跡・文化財・観光施設・祭事等笠置町の観光宣伝などに役立つもののフィルムカメラ、デジタルカメラによる作品を募集します			17人43作品応募で、6人6作品が受賞 さくらまつり開催時に表彰		
	伝統的行催事委託	〃	8月実施の伝統行催事（灯ろう流し等）の委託。			800個の紙製灯ろうを流す		
	河川敷草刈り委託	関連事業	数多くの観光客が来る笠置キャンプ場にある河川敷の施設を快適に利用してもらうため、施設周辺の草刈りを委託。					
住民 協働 事業	観光イベント事業（夏まつり事業）	交付金対象事業	笠置町の自然と緑あふれる魅力を多くの方に知ってもらうため、夏まつり実行委員会主催のイベントへ支援			子ども向け企画「魚つかみ」からメインイベントの「花火大会」の実施までを合わせて、約10,000人の集客		
	観光イベント事業（鍋フェスタ）	関連事業	きじ鍋のまち笠置町を全国にアピールするとともに、全国のご当地鍋を来場者が食べ・投票し全国ご当地鍋グランプリを決定する。			きじ鍋のまち笠置町をアピールするとともに、全国のご当地鍋ナンバー1を決めるイベントを開催し、約7,000人の集客		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名： 笠置町

成果指標①	成果指標の目標数値	入込観光客数 H21：32万人→H25：35万人		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	266,690人 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)	
	成果指標の達成状況	-	(左の理由)	成果指標の目標数値が25年度目標と途中段階であるため		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	成果指標の目標数値が25年度目標と途中段階であるため	(時期)	平成25年度末
成果指標②	成果指標の目標数値	笠置ファン登録者数 H21：500人→H25：800人		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)	755人	
	成果指標の達成状況	-	(左の理由)	成果指標の目標数値が25年度目標と途中段階であるため		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	成果指標の目標数値が25年度目標と途中段階であるため	(時期)	平成25年度末
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>第3回目を迎えた「全国ご当地鍋フェスタ」では、この小さな笠置町に約7,000人もの観光客が来場され、笠置町の魅力を発信する機会として「夏まつり事業」とともに定着してきたとともに、笠置ファン登録者数等の増加に大きく貢献したところです。今後も様々な観光振興の取組を行いながら、笠置町の魅力を発信し、成果指標の達成に向けた取組を推進する。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	歴史・文化イベント、自然・環境イベント及び食文化イベントと幅広い事業展開が図れた。				
	府と市町村等との連携に資する成果	地域イベント助成事業の活用が図れた。				
	住民の自治意識を高める成果	各種イベント等を通じて、笠置の魅力を再発見するとともに観光に対する意識が高まった。				